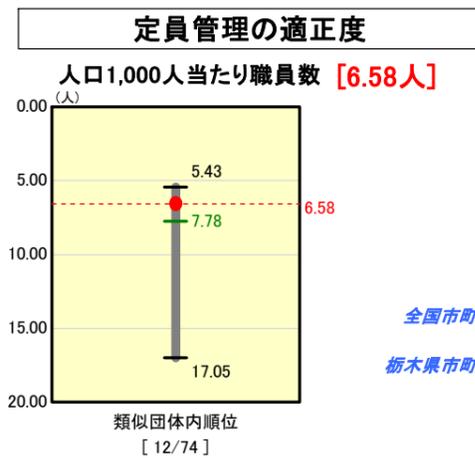
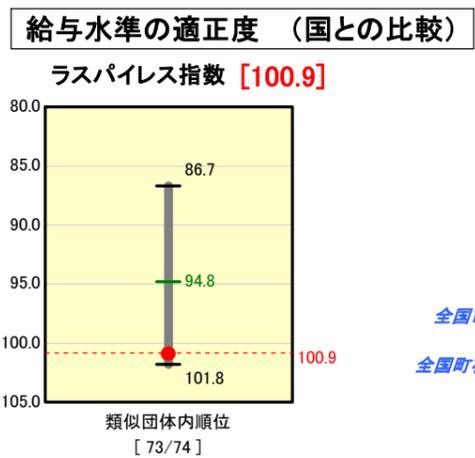
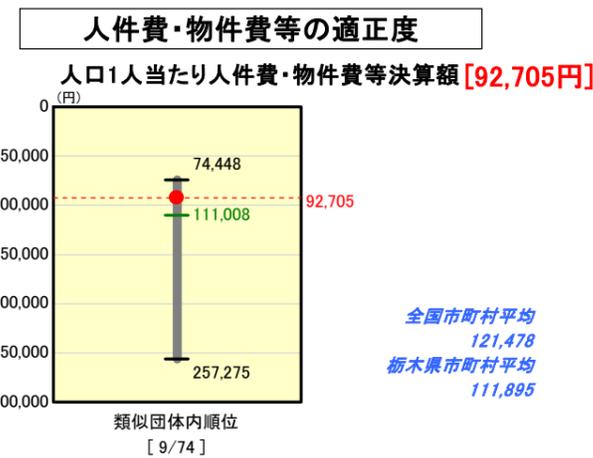
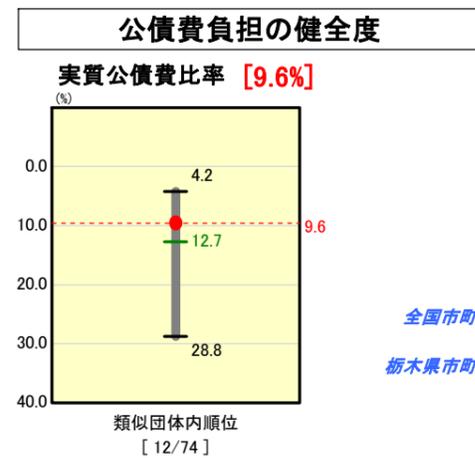
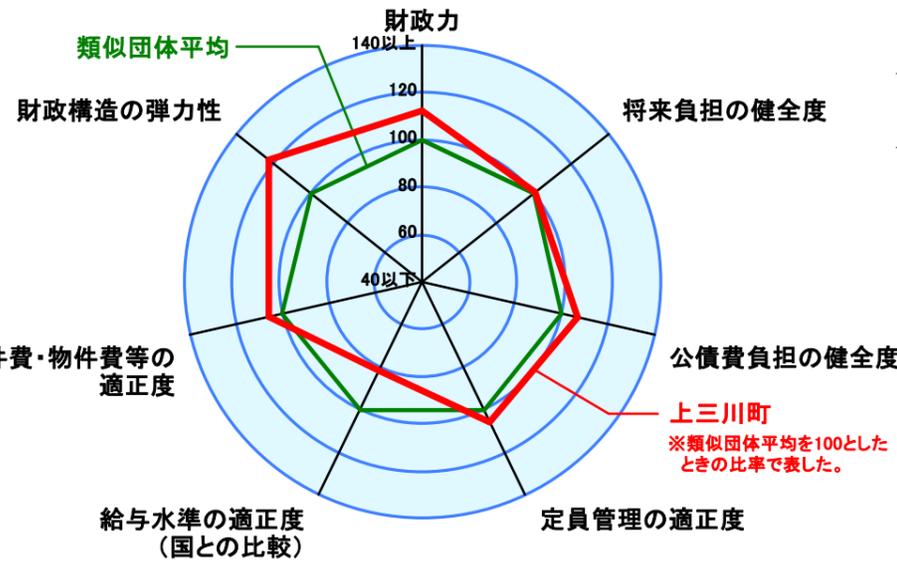
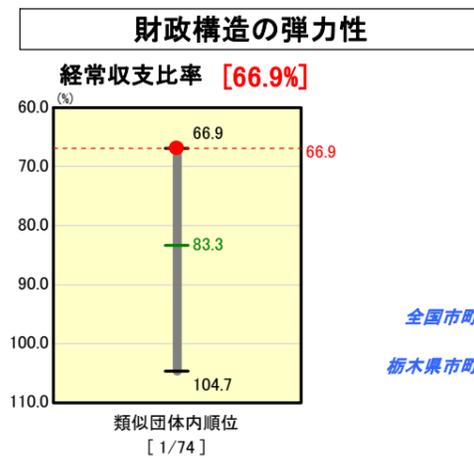
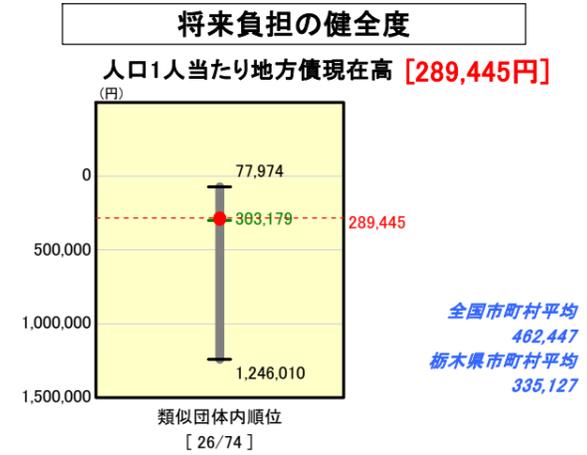
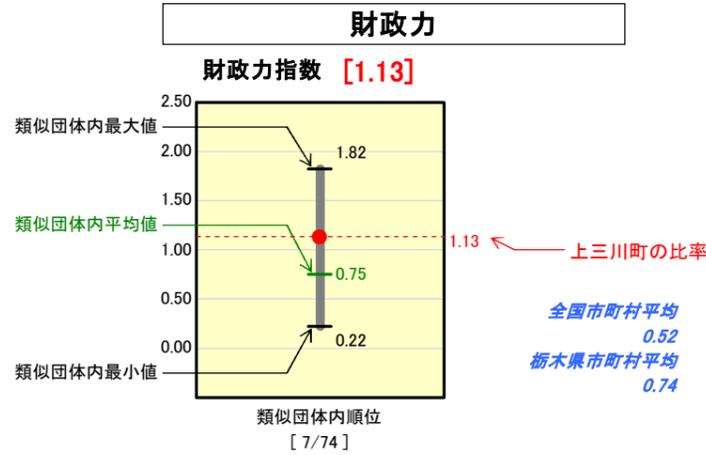


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

栃木県 上三川町

人口	31,471 人(H18.3.31現在)
面積	54.52 km ²
歳入総額	10,946,886 千円
歳出総額	10,433,984 千円
実質収支	511,102 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

・財政力指数

大企業の事業所が立地すること等で、類似団体平均より高い数値を示している。ただし、指数は経済動向次第で大きく変動する場合があります。また、その予測も困難であることから、自主財源の根幹である町税の収納率を高め、安定した財源確保に努める。

・経常収支比率

本町の経常一般財源決算額において、企業業績の回復等により町税収入が増えたため、指数は低くなっている。また、新規採用職員の抑制、職員手当の見直し等、人件費を中心に平成13～17年度の五ヶ年で平成12年度に対し2億4,300万円、11.7%の削減を行ってきたところですが、今後は行政評価制度等を活用し、事務事業の効率化を図り更なる経常経費の削減に努める。

・ラスパイレース指数

職員の給与に関しては、管理職手当の支給率の見直しによる引き下げや、給与制度の改正に合わせた級別職務分類

・実質公債費比率

現在は類似団体の平均を下回っているが、数年後にはポイントが上昇することが予想されるので、後年度負担が過重とならないよう、町債管理基金等の積立を積極的に行っている。

・人口1人当たり地方債残高

現在は類似団体平均と同水準にあるが、継続事業として平成18～19年度に(仮称)総合保健福祉センター建設事業を実施しており、多額の起債を予定している。20年度以降は適債事業を厳選し、類似団体平均を上回らないよう取り組んでいく。

・人口1,000人当たり職員数

類似団体平均を下回っている。平成13～17年度の五ヶ年で平成12年度に対し28名、10.6%の削減を実施している。なお、いわゆる「団塊の世代」の大量退職時期を視野に入れ、住民サービス低下を招かぬよう、引き続き計画的な職員定数管理を行っていく。